

ジャーナリスト、ジャパンプレス主宰 佐藤和孝氏『ウクライナの現場から』刊行トークイベント

“侵攻から1年、ウクライナのいま”

3月16日(木) 誠品生活日本橋にて、「佐藤和孝写真展 ウクライナの現場から」同時開催。

株式会社有隣堂（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長：松信 健太郎）は、12月27日発売の当社オリジナル新刊『ウクライナの現場から』の刊行記念として、著者の佐藤和孝さんによるトークイベントを、3月16日(木)誠品生活日本橋(中央区 運営：有隣堂)で開催します。ロシア侵攻から1年になるウクライナ情勢は、長期化の様相を呈し日々予断を許さない状況です。ウクライナの街はどのように変わったのか？佐藤さんはその姿を確かめるべく、三度目の現地取材に飛び立っています。今回のイベントは、佐藤さんの帰国直後に開催し、最新のウクライナ情報について撮りたての現地写真とともに語っていただきます。



イベント概要

- タイトル：トークイベント “侵攻から1年、ウクライナのいま”
- 登壇者：ジャーナリスト、ジャパンプレス主宰 佐藤 和孝 氏
- 開催日：2023年3月16日(木) 19:00~20:00（終了時間は変更の可能性あり）
- 場所：誠品生活日本橋内イベントスペースFORUM / オンライン（Zoomウェビナー）
東京都中央区日本橋室町3-2-1 COREDO室町テラス 2階（新日本橋駅、三越前駅）
- 定員：会場観覧 30名 / オンライン 900名
- 参加費：無料
- お申込・詳細：会場観覧：<https://seihin0316ukraine1.peatix.com>
オンライン：<https://seihin0316ukraine2.peatix.com>

※社会情勢等の事情によりイベントを中止する場合がございますので、予めご了承ください。

※会場へお越しの方は、感染拡大防止策の徹底へご協力をお願いします。

イベント内容紹介

侵攻から1年になるウクライナ情勢は、長期化の様相を呈し日々予断を許さない状況にあります。

40年以上にわたって、世界の紛争地域を取材してきた戦場ジャーナリストである佐藤和孝さんは、昨年のロシアによるウクライナ侵攻勃発直後に現地取材に入りました。西部の都市リビウから戦跡を辿るようにキーウ、イルピン、プチャを取材。ロシア軍に蹂躪された各都市には死者はもちろん、癒すことのできない心の傷を抱えた数多くの市民が取り残されていました。現場に残された人

びと一人一人に取材し、戦時下で懸命に生きる市民の姿を著書『ウクライナの現場から』で活写しています。

侵攻からちょうど一年たったウクライナの街は、そして生き延びた人々はどのように変わったのでしょうか？

佐藤さんは、その姿を確かめるべく、三度目の現地取材に飛び立っています。今回のトークイベントでは、帰国後まもない最新のウクライナ情報を撮りためたの現地写真を紹介しながら語っていただきます。

～再建するも、すぐに攻撃にさらされる街の情景？

いまだ抜けない恐怖の記憶におののく人々？

想像もできないような困難のなかで必死に生活の立て直しを急ぐ姿？

物理的な距離を乗り越えて、現地を実感できる貴重な機会です。

ご好評いただきました 2022 年 6 月開催の誠品生活日本橋主催イベント「ウクライナのリアル」に続く、第 2 弾企画です。

登壇者プロフィール

佐藤 和孝(サトウ カズタカ)

1956 年北海道帯広生まれ。横浜育ち。ジャーナリスト、ジャパンプレス主宰・

山本美香記念財団代表理事。24 歳よりアフガニスタン紛争の取材を開始。

その後、ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争、アメリカ同時多発テロ、イラク戦争などの取材を続け、

2003 年にはボーン・上田記念国際記者特別賞を受賞。

著書に『アフガニスタンの悲劇』(角川書店)、『戦場でメシを食う』(新潮新書)、

『戦場を歩いてきた』(ポプラ新書)、『タリバンの眼』(PHP 新書)など多数。

2022 年末、最新刊『ウクライナの現場から』(有隣堂/1,100 円税込)を刊行。



同時開催

■タイトル：佐藤和孝写真展 ウクライナの現場から

■開催日：2023 年 2 月 24 日(金) ～ 3 月 19 日(日) 11:00～20:00

■場所：誠品生活日本橋 書籍エリア 誠品選書コーナー

■入場料：無料

■みどころ：

2022 年の二度にわたる現地取材で撮影した多数の写真の中から 14 点を厳選していただきました。

【侵攻当初編】としてロシアによるウクライナ侵攻勃発直後の 2022.3.4～2022.4.13、リビウ、キーウ、イルピン、ブチャでの取材から 8 点。ポーランド国境に向かう人々やパンの配給に群がる人々の姿が印象に残ります。書籍ではモノクロ掲載の写真がカラーで大きくご覧いただけます。

【ヘルソン編】として侵攻後 2 回目の 2022.11.20～29、ヘルソン州各地での取材から 6 点。国際空港や劇場、博物館が破壊・略奪されつくしている様子がわかります。

予告：佐藤和孝写真展 第 2 弾

■開催日：2023 年 3 月 22 日(水) ～ 4 月 11 日(火)

■場所：有隣堂横浜駅西口店 <https://www.yurindo.co.jp/store/yokohama-diamond/>

●有隣堂のオリジナル出版物のご紹介

有隣新書 <https://www.yurindo.co.jp/yurin/sinsho>

単行本 <https://www.yurindo.co.jp/yurin/tanko>

●情報紙『有隣』について

1967 年 12 月創刊の情報紙。奇数月 1 日発行。各界の一流執筆者による、神奈川の歴史・文化にちなんだテーマや、文学・芸術・時事問題などに関するエッセイ・論説を掲載。電子版はこちらから <https://www.yurindo.co.jp/yurin/>